

### 新春のつどい

新年一月三日、外江地区自治連合会主催の「新春のつどい」が行われました。六十余名の参加者があり、大いに盛り上がりました。



↑ 歓談で盛り上がる会場  
→ 「安来節」で新年に華を添えて頂きました



↑ 乾杯の挨拶をする年男の三宅勇さん  
→ 自治連合会門協会長による新年の挨拶



### 【外江公民館からのお願い】

公民館前に、ペットボトルキャップの回収ケースが設置してあります。キャップ専用ですが、コーヒーや調味料などの瓶詰めキャップ、乾電池、電球などが混ざっていることがあります。これらのものを入れないよう、皆様のご協力をお願いいたします。



### 《境港警察署からのお知らせ》

#### 詐欺の電話にご注意を！

「電話番号が変わった」「ATM に行つて!」「必ずもうかる」といった電話は振り込め詐欺の可能性がります。振り込む前に、家族や警察などに相談しましょう。

警察総合相談電話 ☎ #9110 境港警察署 ☎ 44-0110

### 海 峡 句 会

木々は脱ぎ人は重ねて冬深む	原	素水
太陽の恵み琥珀 <small>こはく</small> の吊し柿	朝倉	光子
懸崖の菊金婚の辛苦知る	浜田早智子	
しばらくは鴨の生態みて飽きず	足立	春美
野仏に夕日沁み入る枯芒	柏木	千代
それとなく雨音さびし冬に入る	松本	絹枝
意宇の山まだらもみじと二重虹	里見	信夫
遠からず母の齢や木の葉散る	板倉	弘明
鯛やきの先づは脾腹 <small>ひ</small> のあたりから	押藤	幸雄
冬海に火種のごとく浮標の灯		

### 鳥取の昔話

#### 天 福 地 福

昔静かな山里に、貧しいけれど正直なおじいさんとおばあさんがいた。

ある日、おばあさんが「困つたなあ、年の瀬になつたにお金がないけん正月の用意もできん。」とつぶやきながら縁側からぼんやり外をながめていた。そこを通りかかった旅の易者が、おばあさんの顔をじつと見て、「おばあさんあんたはいい顔をしている、天福があるよ。」と行って去つて行った。

おばあさんはうれしくなつて「おじいさん畑に行つてくるわ。」と言って、鍬(くわ)を担いで畑に行った。おばあさんが畑の隅を耕していると何か堅い物にコツンと当たつた。はて、何だろうと思つて掘り進んでいくと汚いつぼが出てきた。ふたをはぐつてみると、お金がいっぱい詰まつていた。「易者は天福だと言つたけど、これは地福だけん持つて帰れんな。」と喜んで、そのまま元通りに埋めて家に帰つた。

おじいさんに一部始終を話す

と、おじいさんも「それは取れんなあ」と言った。ところがその話を隣のおじいさんが聞いていて、「いいことを聞いたわい。それなら私がもうとするか。」と言って、さつそく畑に行つて掘つてみるとびんが出てきた。喜んでふたを開けると、中から蜂がブンブン飛び出してきて隣のおじいさんを刺した。カンカンに怒つた隣のおじいさんは「あのくそババが、この蜂を持って行って刺してやらにや気がすまん。」と言って、びんにふたをしておばあさんの家を持って行った。

家の中ではおじいさんとおばあさんが困り裏にあたつていたので、屋根の煙抜きからつぼの中の蜂をぞろぞろとこぼした。すると蜂がお金になつてザラザラと落ちていった。おばあさんが「おじいさん天福だ天福だ」と言つて、一人は囲炉裏の中からお金を拾いあげた。それから二人はお金持ちになつて楽しく暮らしたそうなの。

(終わり)

